

With コロナ社会における観光振興について

【担当省庁】総務省、国土交通省

With コロナ社会における観光需要の復活や交流拡大を図り、地域経済が持続的に維持・発展するよう、以下の措置を講じていただきたい。

- 観光庁では、訪日外国人旅行者の本格的回復に向けた戦略的なプロモーションを行い、地方などへの誘客を図るための予算を JNTO 運営費交付金として予算化されているが、その取組内容は主要な観光地の紹介にとどまりがちである。令和3年度まで実施された地域の観光資源を活用したプロモーション事業は、地方の隠れた魅力を掘り起こし、地域が主体的に発信することができる有効な事業であったことから、同等の事業を復活すること
- 観光を契機とした交流を促進するため、地域との関係性の構築を通じて交流人口・関係人口の拡大を図る「新たな交流市場の創出事業」について、モデル実証等により得られた知見等を地方自治体にフィードバックすること
- 旅行者の人流や属性、購買情報などリアルタイムの行動動態に関するデータを国の観光統計調査で把握し、こうした情報を地方自治体等に提供することで、観光DXの推進や新しい観光地づくりを支援する仕組みを整備すること
- MICE について、オンライン会議などを併用したハイブリッド型の安心安全な開催を強化するため、都市部だけでなく地方における5G等の通信環境整備を加速化すること

【現状・課題等】

- 令和4年10月の全国旅行支援の開始や海外からの個人旅行の受入再開などにより、国内外の観光客は徐々に戻りつつあるが、京都観光の再生を確実なものとするため、観光需要の拡大やインバウンド回復に向けた取組が必要
- 広域連携事業の推進に効果的な「地域の観光資源を活用したプロモーション事業」は、コロナ禍で財源となる出国税収入が激減し、令和3年度で事業が終了した。

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 観光室(075-414-4854)
---------------	---------------------------

【国の事業等】

■新たな交流市場の創出事業〔国土交通省〕 6.49億円

- ▶ 地域との交流の拡大、滞在環境・移動環境の整備に向けたモデル実証等を実施

■戦略的な訪日プロモーションの実施〔国土交通省〕 123.56億円

- ▶ 旅行消費額の増加や地方誘客促進を目指しながら、インバウンドの本格的な回復・拡大を実現するため、全国各地での特別な体験等の発信をはじめ、戦略的なプロモーションを実施

【京都府の取組】

■インバウンド対策事業 80百万円

- ▶ 回復しつつあるインバウンドの効果を府域全体に行き渡らせるため、プロモーションを実施

■地域の魅力を活かした観光振興事業 10百万円

- ▶ 人流データや宿泊データ等の観光データの収集・分析により、観光客の嗜好やニーズの変化を的確に捉えた効果的なマーケティングやプロモーションの実施するため、情報を共有するためのプラットフォームを構築